

第12回 環境・安全教育講座 in 関西

CS委員会 木田 康夫
(島津エミット株式会社)

3月4日(火) 午後(13:00~16:30)、株式会社島津製作所 関西支社 島津マルチホールにおいて、受講者11名の参加を得て、「第12回 環境・安全教育講座 in 関西」が開催されました。JVIA環境委員会とCS委員会の合同開催で、参加しやすさの向上を狙って前回の第11回より、1日講座から午後半日講座にスリム化し、厳選した環境2テーマ、安全1テーマ、計3件のテーマでの開催となりました。

環境委員会の第1テーマは、株式会社島津製作所の山下陽之氏による「廃棄物削減への取組み事例紹介」でした。ISO14001は多くの企業で認証されていますが、他社の取組み状況はなかなか入手しにくいのが現状です。又、「紙、ゴミ、電気」削減の取組みは、ある段階までいくと頭打ちになってくるのが各社の悩みどころだと思います。今回の講座では、会員企業が実際に取り組んできた廃棄物削減の具体的な事例やアイデア、体験談が紹介されました。参加者からは環境に対する取組みについて、参考になる内容が多かったと共感をいただきました。

環境委員会の第2テーマは、キャノンアネルバ株式会社の小泉達則氏による「製品含有化学物質調査ツールの最新動向と各社の取組み状況」でした。経産省主管の「化学物質規制と我が国企業のアジア展開に関する研究会」とその下部組織である「情報共有ワーキンググループ」の公開資料をもとに、含有化学物質調査ツールの今後の動向が紹介されました。近年、多くの企業ではお客様を頂点とする大きなサプライチェーンの中で、含有化学物質の情報伝達の責任を負っており、非常に関心の高い内容であると思います。今回は最新の情報を提供すると共に、その対応事例が紹介されました。参加者からは、自分が担当するため大変困っており、

検討すべき重要な情報が聞けたとの評価をいただきました。

CS委員会のテーマは、島津エミット株式会社の木田による「安全等に対する各社の対応」でした。CS委員会では、委員会メンバーによる情報交換の中から、企業活動を継続する上において最も重要なテーマの1つである「安全」を取り上げ、整理された情報を成果物として小冊子にまとめる活動を続けています。本講座では「安全」を広範囲に捉え、災害時の対応、製品の保証期間、製品のメンテナンス時における有害物質等の対応状況などについての各社の取組み事例を紹介いたしました。参加者からは実務に関連する内容が多かったとの評価をいただきました。

今回は3講座を開催させていただきましたが、今後も皆様のお役に立つテーマについて最新の情報をわかりやすくご提供できるよう努めて参りたいと考えております。

最後になりましたが、今回の環境・安全教育講座にご参加いただいた受講者の皆様、会場をご提供いただいた株式会社島津製作所様、また開催に携わっていただいた真空工業会事務局他、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます、報告とさせていただきます。



環境委員 山下氏



環境委員長 小泉氏



CS委員 木田氏